

「中国南京研修参加報告書」

京都大学文学部・研究科3年 永田成望

8月19日～9月16日まで中国南京大学に中国語現地実習へ参加しました。

期間のわりに内容が濃い1か月を過ごせる事ができ、とても有意義な時間となりました。

授業は週に五日、四時間ずつありました。次の月曜日の授業で歌ってね、と紹介された、中国語に訳された「赤とんぼ」を、鏡をみて開口と発音に気をつけながら毎日のように練習したのがとても楽しかったです。先生の紹介してくださった歌手のかたから、C-Popを知るようになり、歌っては録音し、また歌うことを繰り返すうちに、少しは発音がよくなったのではないかと思われて自信がつけました。

南京以外に三ヶ所、揚州と無錫と上海に行きました。旅行をしてよかったと思う最大の理由は、南京だけにとどまらない、もう少し大きな範囲で共通するかに思われる雰囲気や空気感を味わえたことです。また、週末にしか行かないため、一週間での成長具合を少しでも実感できました。

中国ではさまざまな驚きの連続でした。道路では見慣れないバイクのようなものが走っており、日本では絶対にわたらないタイミングで歩行者の方が横断します。電動車の防犯ブザーがいたるところで鳴っており、まったくその意味を成しておりません。歩行者用の道路のはずが、植わった街路樹のせいで歩行者が歩けず、車道を歩くこともしばしばです。しかし中国に行って良かったと思うことのひとつは、とてもおいしいごはんが毎日安くお腹いっぱい食べられたことです。その料理にはまって、研修仲間の奈良女子大のかたがたと料理本を買い、中華持ち寄りホームパーティーをしようと約束し楽しみながら中国語を学ぶこともできました。南京大学へ現地研修に参加したことにより中国に対する印象も、勉強に関するモチベーションも変わり、大変になる研修を受けられたと思っております。

ありがとうございました。